

課題・思い共有期間

4月～8月

未来を考える期間

9月～1月

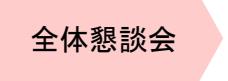
具体的に落とし込んでいく期間

2月～2018年度

## ■ テーマ熟議

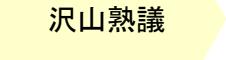


**大槌未来会議:**  
 ・課題を確認した後、大槌で実現したい教育を確認  
 ・大槌の持っている大切にしたい価値観、歴史的なルーツから地域教育を取り戻す  
 ・教育基本条例や今後の施策、町民の主体的な取り組みに活かしていく  
 ・文科省や県の担当課も参加頂く



**教育マイプロジェクト:**  
 ・課題を共有した町民に当事者となって教育の課題を解決するプロジェクトを立ち上げてもらう  
 ex:見守りプロジェクト、農業体験プロジェクト等  
 ・おおつち型教育プロジェクトでは、そういった教育マイプロジェクトを応援していく

## ■ 地域熟議



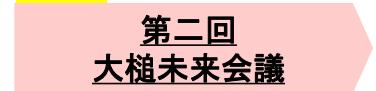
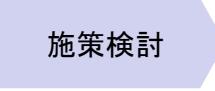
**熟議の目的:**  
 ・各関係者の今持っている悩みをまずは聞くことで安心して伝えて良いと感じてもらう  
 ・各関係者が真に解決したいと思っていることの確認(それは関係性の問題なのか?それとも施策が必要なのか?)  
 ・やりたいと思っていることのどこに壁があるのかの確認

## 大槌町 教育大綱策定

条例策定に向けた動き

地域が当事者になる動き

政策として予算化する動き



## 小中一貫教育サミット

**サミット後について:**  
 ・生態系としていけるよう、未来会議は継続していく  
 ・教育マイプロジェクトこそ、生態系にしていきたい  
 ・施策については具体的な実行段階に入り、住民参加型で行っていく



**予算化する施策について:**  
 ・机上の空論で終わることや、ただ地域住民のみに任せるのではなく、大きな動きをつくる町としての施策も検討  
 ・町民など当事者の願いを受けたおおつち型教育を反映した施策としていく  
 ・検討/実行については、行政主導で行うのではなく、住民参加型で行う(※運営の仕方等は要検討)

## ■ 学校・社会教育の実践

